



我が家のペットの防災対策は万全ですか？

豪雨、地震などの災害は突然起こります。

災害時に家族の一員であるペットと一緒に避難する“同行避難”には、

事前に避難計画を立てることが欠かせません。

家族で集まり、避難計画を考えて備えましょう。



《ペットとの同行避難計画 5つのポイント》



1 ペットの避難方法

家族の誰が？

どのように？

もし逃げてしまったときは？



2 緊急時の預け先

家族、親戚？

知人？

ペットホテル？



3 必要な備蓄品

何が？

何日分必要？



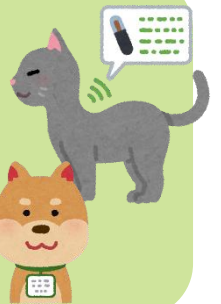
4 迷子への備え

マイクロチップ？

迷子札？

鑑札？

注射済票？



5 避難後への備え

定期の予防接種をしている？

ノミ、ダニの駆除は済んでいる？

ケージやキャリーバックに慣れている？

トイレや待てのしつけをしている？



例えば・・・

➤ 最低限必要なもの

☐ **5日分以上**のフード、水

☐ 療養食、処方薬

☐ 食器

☐ 予備の首輪・リード

☐ ガムテープ

☐ 飼い主の連絡先、ペットの情報の記録

➤ あると便利なもの

☐ ペットシート、トイレ用品

☐ ペットが好きなおもちゃ

☐ 匂いのついたタオル

☐ ブラシ

☐ 新聞紙

☐ ブランケット

※「ペットも守ろう！防災対策」（環境省）(https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2909a.html) を加工して作成



老後をペットと幸せに暮らすために今から備えていますか？

人もペットも平均寿命が長い現代では、

飼い主とペットが老後を長く共にすることが少なくありません。

飼い主自身が加齢に伴う体力の衰えや病気等に直面したときも、

ペットが適切に世話をされるように備えることは飼い主が果たすべき責任の一つです。

大切な家族が将来の不安なく暮らせるように今から備えましょう。

《ペットの将来のために、今出来ること》

●一時的な預け先を見つけておきましょう

- ・ 家族、友人、近所の人など、いつも会っている人ならペットも安心です。



●かかりつけの動物病院を作りましょう

- ・ 歩いて通える距離や通いやすい場所がいいでしょう。
- ・ 普段から検診などで信頼関係を築きましょう。
- ・ 一時的な預かりができる場合があります。



●ペットホテルやペットシッターを調べておきましょう

- ・ 事前に探して、試しに短期間で利用してみましょう。
- ・ 長期間預けたいときは、早めに相談しましょう。



●ペットを清潔にしておきましょう

- ノミやダニの予防
- ワクチン接種
- 寄生虫の駆除
- ・ 預けるときに必要です。
- ・ 自分の健康にも大きくかわります。



●基本的なしつけをしておきましょう

- トイレのしつけ
- ケージの中でおとなしくできる
- ・ 預けた先で迷惑にならないように、また災害でペットを連れて避難したときにも必要です。



●ペットの健康手帳を作りましょう

- ・ ワクチン接種の記録などをつけておきましょう。
- ・ 緊急のときにも役に立ちます。



「共に生きる高齢ペットとシルバー世代」(環境省) (https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/r0109.html) を加工して作成

●世話が十分に出来なくなった場合は、ペットを譲ることも考えましょう

- 譲り先を探す方法は下記のようにいろいろあります。
 - ・ 家族・親戚や知人への相談
 - ・ 新聞の情報欄に掲載する
 - ・ 動物愛護団体に相談する
 - ・ インターネットの掲示板、SNS を利用する



- また、健康で適切なしつけをしているペットであれば、譲り先を見つけやすくなります。

普段からペットの健康管理としつけをしっかり行うことも、将来への備えとなります。